

研究主題「義務教育9年間を見通した小中連携について」

I 主題設定の理由

同じ笛川地区で学ぶ児童・生徒をともに教育していく立場から、児童・生徒の基盤である地域の今日的な課題に迫る学習会、小中学校の授業参観・交流会を計画、実践していく。こうした活動から、教師間の連携を深め、児童生徒への理解を図るとともに、系統的な教育活動を目指す。

II 研究の内容

1 第1回ブロック交流研究会 ☞ **新型コロナウイルス感染防止のため中止**

(1) 日時 令和2年5月20日(水) 13:30～

(2) 場所 笛川中学校

(3) 内容

ア、中学1年生の授業参観

イ、児童・生徒の情報共有

2 第2回ブロック交流研究会

(1) 日時 令和2年11月4日(水) 15:00～

(2) 場所 笛川小学校 図書室

(3) 内容

ア、特別支援教育研修環流報告 講師 阿部かおり教諭(笛川小)

イ、児童・生徒の情報共有

III 成果と課題

1 成果

- ・特別支援教育に対する共通理解を小中で図ることができた。
- ・卒業した児童の様子、来入学生徒の様子を情報交換できた。
- ・学習の詳細事項の質問があり、小学校の様子を中学校に伝えることができた。
- ・今年度も中学校で実施する漢字検定、英語検定に小学生も任意で参加した。

2 課題

- ・今年度は実際に学校の様子を見に行くことはできず、情報交換のみで終わってしまった。

(ブロック長 上野 瞳)